

卒業論文執筆に関する注意点

配布日：2018年4月10日（火曜）

卒業論文題目検討会： 2018年11月中旬
卒業論文題目届提出締切：2018年11月末日
卒業論文提出締切： 2019年1月10日（木）（要確認）
→ できるだけ1月9日（水）に提出するように！

1. できるだけパソコンとワープロ・ソフトウェアを使用すること。その際には、必ずUSBメモリー、CD-R等にバックアップをとること。
2. 用紙はA4を使用すること。1ページあたりの字数は、1行40字で30行、つまり1,200字（400字詰め原稿用紙で3枚分）とすること。ただし、英数字はすべて半角文字で入力すること。全体（本文）の分量は、原稿用紙100枚（40,000字）程度。
3. 表紙、要約、目次を本文の前につけること。要約は2,000字程度とし、目次の項目には含めない。目次には、本文の各章、各節のページ番号を記入すること。表紙と目次には、ページ番号をふらないこと。
4. 図、および表にはそれぞれに通し番号と表題をつけること。なお、図の場合は図の下、表の場合は表の上に通し番号と表題をつけること。
5. 内容的に次の項目を網羅すること：
社会学的問題設定、先行研究、分析の焦点、分析方法、分析結果、参考文献
6. 文献の参照の仕方、および参考文献の記述の仕方は、『社会学評論スタイルガイド』第2版に従うこと。但し、句読点については通常の和文用の句読点で良く、コンマやピリオドを使う必要はない。また、章や節のタイトル（見出し）のつけ方も、このスタイルガイドに従うこと。但し、本文中では章・節などの表記を用いても良い。
7. 副題をつける場合は、全角二倍ダッシュ「—」を副題の前後両方につけること。
8. 卒業論文に個人、団体、組織などの名称や写真などを掲載する場合、あるいは、個人、団体、組織などから得た情報を掲載する場合には、掲載前にあらかじめ掲載許可を得ておくこと。
9. 提出物は、すべて学生第一係（文学部担当）に提出すること（移転後、変更の場合あり）。
10. 2018年度前期は、火曜日5時限の「地域福祉社会学研究法演習Ⅰ」（安立）、「社会学研究法演習Ⅱ」（山下）、金曜日5時限の「社会学研究法演習Ⅰ」（鈴木）、「地域福祉社会学研究法演習Ⅱ」（高野）を履修すること。

以上